

自動車整備・カーボディマスター科(3年次) 自動車整備・トータルマスター科 (3年次)			2025年度 授業計画		
時 期	3年前期	単元	学科	教科名	車体整備理論前期
科 目	車わく及び車体の整備	教科書等 持参品	自動車整備技術 車体整備		発行日
			日産車体士テキスト		2025年3月1日
総時限	63時限		日産塗装士テキスト		教科
必須時限	57時限			担当	上谷 晃一 濱村 和樹
1. 指導教員の実務経験 該当 非該当					
自動車整備士として自動車整備全般の実務経験がある教員により自動車の構造・作動について指導する。					
2. 教科の目的（この学科の狙い、目的を明確に記入）					
1. 車体整備の目的を理解する。 2. 板金について理解する。 3. 溶接について理解する。					
3. 授業の到達目標（何を理解し何が出来ようになるのか）					
1. 車体の整備と検査について理解する。 2. 不法改造について理解する。 3.板金の損傷および板金作業についてりかいする。 4. 電気抵抗スポット溶接について理解する。 5. ガス・シールド・アーク溶接について理解する。 6. ガス溶接について理解する。 7.電気式の溶接器を使用する時の注意事項を理解する。 8. 電気アーク溶接および安全衛生について理解する。					
4. 学習評価（期末試験での主な試験項目）					
期末テスト 1. 鋼板の損傷 2. 板金作業 3. 電気抵抗スポット溶接 4. ガス・シールド・アーク溶接 5. ガス溶接 6. 電気アーク溶接 7. 電気式の溶接を使用する時の注意事項 ・授業態度点 左記7項目範囲から 100問出題					
5. 準備学習					
・過去2年間で学んだ自動車整備の基礎知識全般を復習しておくこと					

自動車整備・カーボディマスター科(3年次)

自動車整備・トータルマスター科 (3年次)

2025年度 授業計画

時 期	3年前期	単元	学科	教科名	車体整備理論前期	
5. 授業概要（時限ごとの主な授業内容）					6. 教科書、資料、備品類	
時限	主な授業内容				資料、備品類	数量
1	接合方法				日産車体士テキストP122～126	
2	溶接関連機器				P127～128	
3	溶接の種類				P129～143 動画使用	
4	〃					
5	〃					
6	〃					
7	〃					
8	部品パネル交換				P144～160	
9	〃					
10	〃					
11	ボデーの建付け、機能の検査				P161～162	
12	ガラス				P17～19 動画使用	
13	損傷診断				P164～165	
14	力の性質				P166～167	
15	計測				P168～171	
16	〃					
17	車体寸法図				P172～175	
18	ボデー修正装置				P176～174	
19	〃					
20	固定				P185～188	
21	引き出し作業のポイント				P189～193	
22	〃					
23	損傷者の修復例				P194～196	
24	錆と対策				P198～198	
25	〃					
26	車体防錆材料				P201～206	
27	〃					
28	塗装の目的				日産塗装士テキストP2～12	
29	補修用塗料、下地塗料				P22～23	
30	上塗り塗料				P24	
31	スプレーガン				P37～46 動画使用	
32	プラサフの目的と性能				P88～89	
33	プラサフの種類				P90～93	
34	プラサフ塗装				P94～99	
35	プラサフの研磨作業				P100～102	
36	色と光				P128～130	
37	色の三属性、色の表示方法				P131～135	
38	等色条件(メタメリズム)色の判定および色差の確認				P136～139	
39	原色の特性、調色用原色				P140～152	
40	作業環境、調色の手順				P154～158	
41	調色のポイント				P159～166	
42	調色の現場的手法				P167～169	
43	上塗り塗装、手段と目的、塗料調合の基礎				P172～173 動画使用	
44	吹き付け準備				P174～176	

自動車整備・カーボディマスター科(3年次)

自動車整備・トータルマスター科 (3年次)

2025年度 授業計画

時 期	3年前期	単元	学科	教科名	車体整備理論前期	
5. 授業概要（時限ごとの主な授業内容）					6. 教科書、資料、備品類	
時限	主な授業内容				資料、備品類	数量
45	塗色別の塗り方				P177～183	
46	3コートパール、カラークリヤー塗装				P184～186	
47	内班骨格部位の塗装				P187～188	
48	2トーン/3トーン塗装、全塗装の要領				P189～190	
49	クリヤー、ブロック塗装、ボカシ塗装				P191～194	
50	樹脂パーツの塗装				P195～198	
51	乾燥機				P200～202	
52	塗装の乾燥方法				P203～204	
53	乾燥時間と温度、磨き作業				P205～206	
54	磨き作業に影響する要素				P207	
55	一般的なコンパウンドの成分とその役割				P208～211	
56	コンパウンドの基本的な使い方				P212～214 動画使用	
57	ポリッシャーの役割、バフの役割				P215～216	
58	バフの基本的な使い方				P217～219	
59	深い傷の処理の仕方、磨き作業				P220～222	
60	第1章、総論				車体整備テキストP17～46	
61	第2章、車体の構造と機能				P47～129	
62	第3章、車体整備(車体整備の目的、板金)				P131～154	
63	期末試験					